

川島教授:環境問題、その見方。論述2題

最近の研究

新しい研究をしなければならない→大気の研究

先進国は大なり小なり花粉が問題になっている。

現在実用化されているシステム→花子さん(花粉を取り込んで…)

レーザー光を照射して花粉の種類や数を把握

欧州には顕微鏡を覗いてやっている人もいる。

この方法と川島教授のやる方法は相補完的。

顕微鏡は正確だが時間がかかる。川島教授の方法なら多少粗くなるがリアルタイム。

屋上緑化

目的は

ヒートアイランドの緩和(顕熱→潜熱)

都市の生物多様性(アメニティ空間)

都市における食料生産(地産地消、食育)

材料と方法

水耕栽培(屋上→重いものはおけない、土は重い)

観測は熱電対など。

結果

屋上の日平均気温が28度以上の日について温度差は平均して -2.0°C 。表面温度は -3.7°C